

【一般予算】

畜産生産力・生産体制強化対策事業のうち
家畜能力等向上強化推進（乳用牛）

◆ 遺伝子解析情報を活用した長命連産の乳用牛の改良推進

（1）乳用牛改良に必要な遺伝子解析

- ・種雄牛選抜のために雄子牛の母牛候補及び雄子牛のゲノミック評価に必要な経費

（2）乳用牛改良のために必要なデータの収集

- ・繁殖性・飼料給与量等の生産性データの収集
- ・検定娘牛や同世代牛の体形データの収集
→改良速度の加速化を図り、信頼度の高いゲノミック評価に資するよう、後代検定娘牛に加え、**ヤングサイアから生産された娘牛の体型データ収集のための費用（拡充）**

（3）能力評価の実施

- ・乳用牛の血統情報や泌乳等のデータの集計・分析、改良センターへのデータ提供

【ALIC予算】

酪農経営支援総合対策事業のうち
乳用牛改良増殖推進事業

1. 遺伝的能力向上対策

（1）乳用牛のゲノミック評価の実施のために必要な雌牛のサンプル収集及び検査

- ・後代検定娘牛及び同世代雌牛のゲノミック評価に必要な経費
- ・雌牛のリファレンス情報の収集・拡大に必要な経費
生産性データ：現状の検定員数でも牛群検定参加農家の増加に対応できるよう牛群検定の効率化に必要な機器の導入（ATタイマー等）
SNPデータ：新たにSNP検査へ取り組む者へのSNP検査補助、耳片採取機の配布

（2）乳用牛のゲノミック評価の利活用を図るための勉強会の開催

（3）泌乳持続性の高い乳用牛の改良を進めるためのゲノミック評価の実施のために必要なシステムの開発

- ・ゲノミック評価結果の生産者へのフィールドバックシステム、ゲノミック評価手法の開発に必要な経費
- ・ゲノミック評価の迅速化のためのシステム改善に必要な経費
- ・新たな評価項目開発のためのデータ収集に必要な調査協力費（機器代、謝金等）

（4）調整交配用精液の活用を實踐する酪農経営体に対する乳用種雄子牛の出生頭数に応じた支援金の交付

- ・乳牛改良の基礎となる後代検定への支援として、調整交配により生まれた雄子牛に対し、1頭当たり6千円の支援金を交付。

2 飼養管理技術の向上対策

- ・検定組合等が飼養管理に係る技術指導等を実施するために要する経費

乳用牛長命連産性等向上緊急支援事業

【令和5年度補正予算額 5,000百万円】

＜対策のポイント＞

従来型の配合飼料多給による乳量偏重の乳用牛から、**長命連産性に重きを置いた強健な乳用牛へ、牛群構成の転換を図る**ことにより、乳牛育成・導入費、飼料費等のコストや環境負荷の低減に資する**持続的な酪農経営への移行を支援**します。

＜事業目標＞

○ 生乳生産量：728万t [平成30年度] →780万t [令和12年度まで]

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

長命連産性の能力の高い乳用種雄牛の交配推進支援

長命連産性に重きを置いた牛群構成への転換を図るため、長命連産性の能力の高い乳用種雄牛の精液又は受精卵等を利用する取組に対し、奨励金を交付します。

対象	奨励金単価
長命連産性能力の高い種雄牛由来の精液等	6,000円/回
特に長命連産性能力の高い種雄牛由来の精液等	9,000円/回

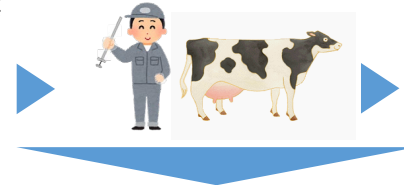
※人工授精等を行う乳用牛1頭につき、対象精液等の利用は3回まで

長命連産性の能力の高い乳用種雄牛の交配推進

長命連産性の能力の高い乳用種雄牛の精液、受精卵等

飼養している乳用雌牛へ交配、移植

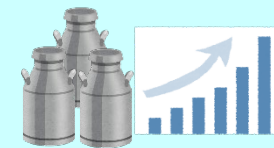
長命連産性に優れた乳用雌牛を生産



牛群の長命連産性が向上



搾乳可能年数の延長



1頭当たりの生涯の生乳生産量の増加



必要となる乳用後継牛の頭数の減少

持続的な酪農経営への移行の実現

・乳牛育成・導入費、飼料費等の
経営コストの削減

・温室効果ガス排出量等の環境負荷
の低減

＜事業の流れ＞

